

## 極めてまぬけな議員たちを忘れない

<http://abirur.iza.ne.jp/blog/entry/25194/>

今朝の朝刊に、拉致被害者家族の横田夫妻が青森市で講演し、これで47都道府県すべてで講演したことになるとの記事が載っていました。お疲れさまですと、心から頭を下げたくなる思いです。

一方、まもなく迎える8月15日を前に、社民党の議員たちが、「首相の靖国神社参拝は許せない」などとうるさいです。セミの鳴き声など聞きようによっては風流にも感じますが、拉致事件解決の足を引っ張り続けた社民党の人たちが、何か大声で「自分達の正義」を主張しているのを見ると、正直なところ怒りがこみ上げます。

イザでも、何人かのプロガーさんが、北朝鮮のスパイ釈放要求書に菅直人・民主党代表代行が署名していた事実を指摘されていますね。週刊文春1989年9月28日号によれば、署名した国会議員は133人、そのうち119人が社会党でした!

社会党議員が119人もいるのも今となっては驚きですが、釈放要求対象者の中には、有名な拉致実行犯で北朝鮮工作員のシン・グァンスのほか、シンの共犯者である金吉旭らも入っていました。知らなかったで済むような問題ではないはずですが、これでは、党ぐるみで釈放を求めたとしかいいいようがありません。

4年前に、官房副長官だった安倍晋三氏が、「(署名した)土井たか子氏や菅直人氏は極めてまぬけな議員だ」と発言して、問題になったことがありました。

国会でも発言が取り上げられ、野党が抗議していましたね。確か参院外交防衛委員会だったか、安倍氏の答弁中に小泉首相から携帯に電話があって「絶対謝るな、どんどんいけ」という指示があったとも聞きました。しかし、残念ながら委員長がその場を納めようとして安倍氏に陳謝を求めてしまったと記憶していますが

手元に、釈放要求書のコピーがあります。当時の盧泰愚・韓国大統領に宛てたもので、「私どもの心情をご理解下さり、彼ら在日関係のすべての『政治犯』とその家族が希望にみちた報せを受け、彼らが韓国での社会生活におけるすぐれた人材として、また日韓両国民の友好のきづなとして働くことができる機会を与えて下さいますよう、ここに心からお願いするものであります」とあります。

北朝鮮工作員が、日韓両国で堂々とスパイとして活躍できるよう祈願しているようですね。また、署名者については「日本国国会議員一同」とも記していません。まるで、日本の国会議員の総意であるかのような書きぶりです。現韓国大統領とは違い、まともな人物であった盧泰愚さんは、果たしてどう受け取ったことでしょうか。

社会党は現在、社民党と名前を改めましたが、中身は変わっていないようです。私なら、恥ずかしくて表を歩けるものではありません。

ちなみに、署名者の中から著名な人物をいくつか拾うと、村山富市、土井たか子、菅直人、青島幸男、江田五月、田英夫、上田哲、田辺誠、山口鶴男、山花貞夫、佐藤観樹、石橋政嗣、千葉景子、久保亘、淵上貞雄、本岡昭次、宇都宮徳馬らの名前があります。

今はもう、政治の表舞台から去った人も多いですが、私はできるだけ記憶にとどめたいと思います。そして、彼らが何を言おうと信用できないということを忘れないでいたいと考えています。